

論文審査の要旨

報告番号	理工研 第400号	氏名	Yusof Shuaib bin Ibrahim
審査委員	主査	佐藤 正典	
	副査	山根 正氣	仲谷 英夫

学位論文題目 Systematics of the Japanese Glyceridae (Polychaeta, Annelida)
(日本のチロリ科(多毛綱、環形動物門)の分類学的研究)

審査要旨

提出された学位論文及び論文目録等を基に学位論文審査を実施した。本論文は、海域の底生動物相の主要なメンバーの一つであるチロリ科多毛類について、日本産の全種(3属29種)の分類学的特性をまとめたもので、全文は4章より構成されている。

第1章は、「序論」である。チロリ科多毛類の特性について概説し、世界および日本における本科の分類学的研究の現状をまとめ、本研究の目的を述べている。

第2章では、「材料と方法」についてまとめている。野外での標本の採集方法、標本の固定、保存方法、形態観察の方法と手段、走査型電子顕微鏡を用いた微細形態観察法について記述し、また借用した博物館標本の所蔵元も明記されている。

第3章では、日本からこれまでに記録されているチロリ科の全29種と比較のために検討されたオーストラリア産の1種の合計30種について、分類学的検討の結果がまとめられている。すべての種について、シノニムリスト、判別形質、および地理的分布が示されている。著者自身が標本を直接検討した15種については、分類形質の線画や写真を添えて各種の特徴が記述されている。*Glycera*属については、形態的に類似した種がグループ化され、6つの種群が新しく設立されている。また、本属の3種については、生殖変態個体の形態および生殖遊泳行動が詳細に記載されている(2種については世界で初めて報告されるものであり、1種については、アジアで初めての記録となる)。この3種すべてについて、体の扁平化、口物の退化、疣足の拡大、剛毛の伸長と数の増加、腹剛毛に単一剛毛の追加、という性成熟に伴う共通した形態変化が確認されている。

第4章は、「考察」である。チロリ科の日本産全種の地理的および垂直的分布の特徴がまとめられている。また、3種の生殖変態の特徴がこれまで世界から報告されている同属10種の特徴と比較されている。従来、チロリ科多毛類の生殖変態や生殖遊泳については、欧米における古い記録があるのみで、これまでアジアでは全く記録されていなかった。本論文が日本産の3種について新たな知見を示し、それを従来の欧米での知見と比較検討したことは特筆すべき成果である。

以上のとおり、本論文は、長時間の野外調査と研究室内の微細形態観察の両方をふまえて、これまで研究が不十分であった日本産のチロリ科多毛類の分類学的特性について多くの新知見をもたらしている。これらの成果は、多様性生物学および海洋生物学の分野に大きく貢献するものであり、また今後のさらなる発展のための基盤となるものである。

以上の事から、本論文は鹿児島大学工学研究科の博士学位論文として十分な価値のあるものであり、審査委員会は博士(理学)の学位論文として合格と判定する。